

■（別紙）加入者アンケート調査結果の詳細

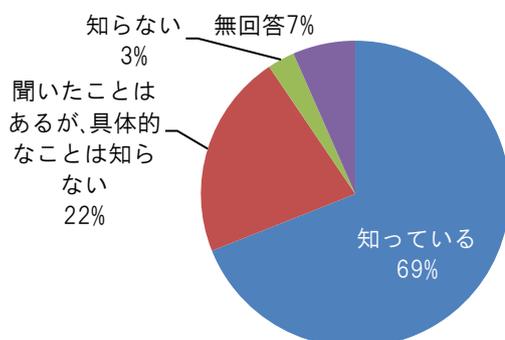
（2016年12月当社「加入者アンケート」結果より）

※本調査レポートの百分率表示は小数点第1位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても100%とならない場合がございます。

【1】あなたは“終活”を知っていますか？

「知っている」、「聞いたことはある」と回答した方は全体の約91%を占めています。しかしながら、およそ5人に1人の方は「聞いたことはあるが具体的なことは知らない」と回答しており、“終活”という言葉が認識されているものの、実際に何が“終活”なのか把握されていない方もいることが伺えます。

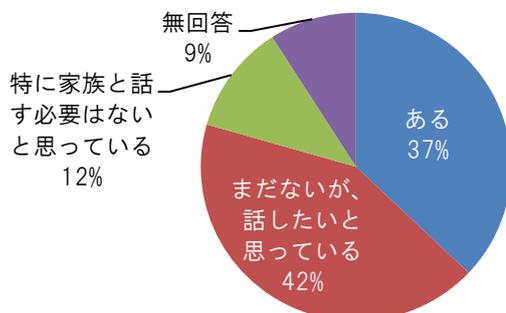
「知っている」と回答した方からは、「実父が亡くなる1年前にすべての準備をして行ってくれました。私達（子供）と母は、何も迷わず父の遺言に従い円満に済むことができました。やはり終活は残された者として大切な事と思いました。」と実体験から“終活”の大切さを感じたというコメントも寄せられました。



【2】“終活”について、家族で話したことはありますか？

「まだないが、話したいと思っている」が約42%と最も多く、「ある」の約37%を上回っています。「ある」と回答した方は、配偶者や子供に保険、葬儀方法など、もしものときに家族が困らないよう相談をしているとのコメントが見受けられました。

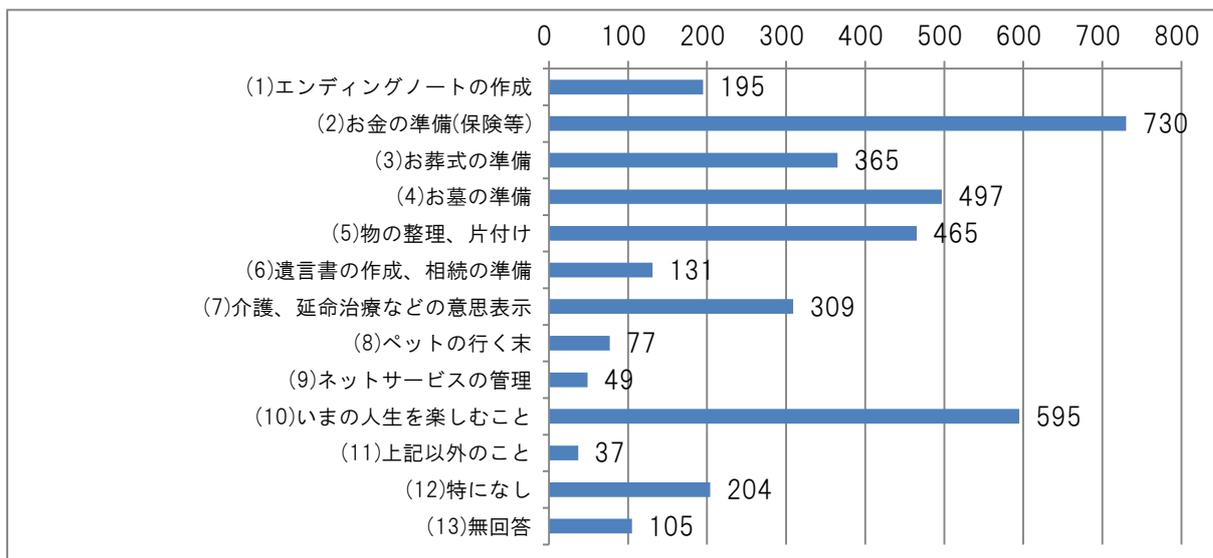
一方、家族と話せていない方のコメントからは、「子供達が早過ぎる話だと思い中々聞き入れてくれず全て、文書にて準備をしました。」など、家族にとって“終活”はまだ早い、あるいはネガティブな印象があることがわかりました。



【3】“終活”について

①あなた自身が行っていること [複数回答可]

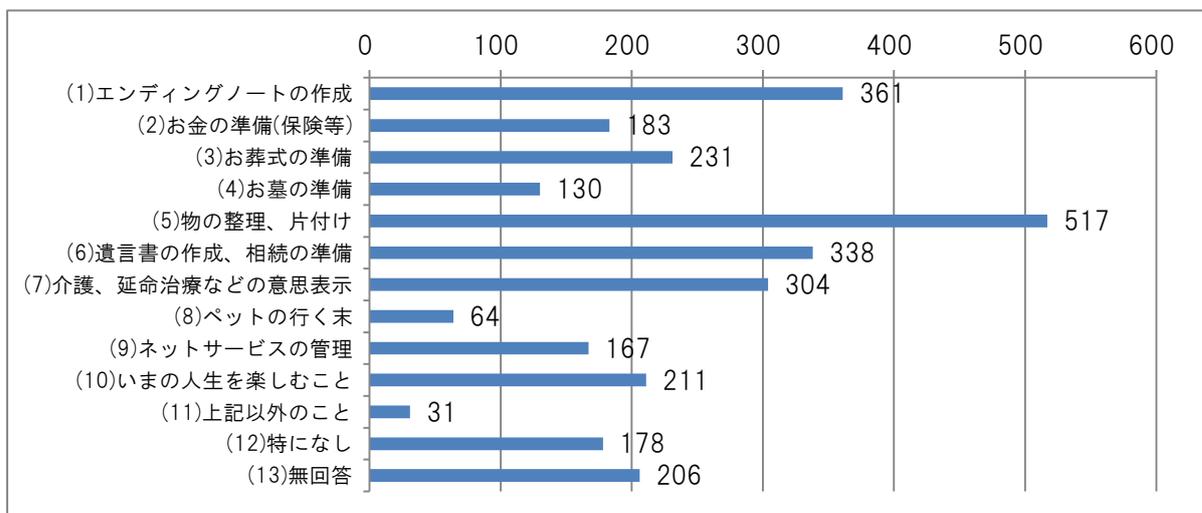
自身が行っていることとして最も多いのが「お金の準備（保険等）（730名）」、次いで「旅行や趣味などいまの人生を楽しむ（595名）」、「お墓の準備（497名）」となりました。お金の準備として、「生命保険のリスト作成、もしものときの連絡先リストの用意」なども合わせて行うことで、家族がスムーズに対応できるようにしているという回答が目立ちました。



②あなた自身がまだ行っていないが「これから行いたいこと」 [複数回答可]

自身がこれから行いたいこととして最も多いのが「物の整理、片付け（517名）」、次いで「エンディングノートの作成（361名）」、「遺言書の作成、相続の準備（338名）」となりました。

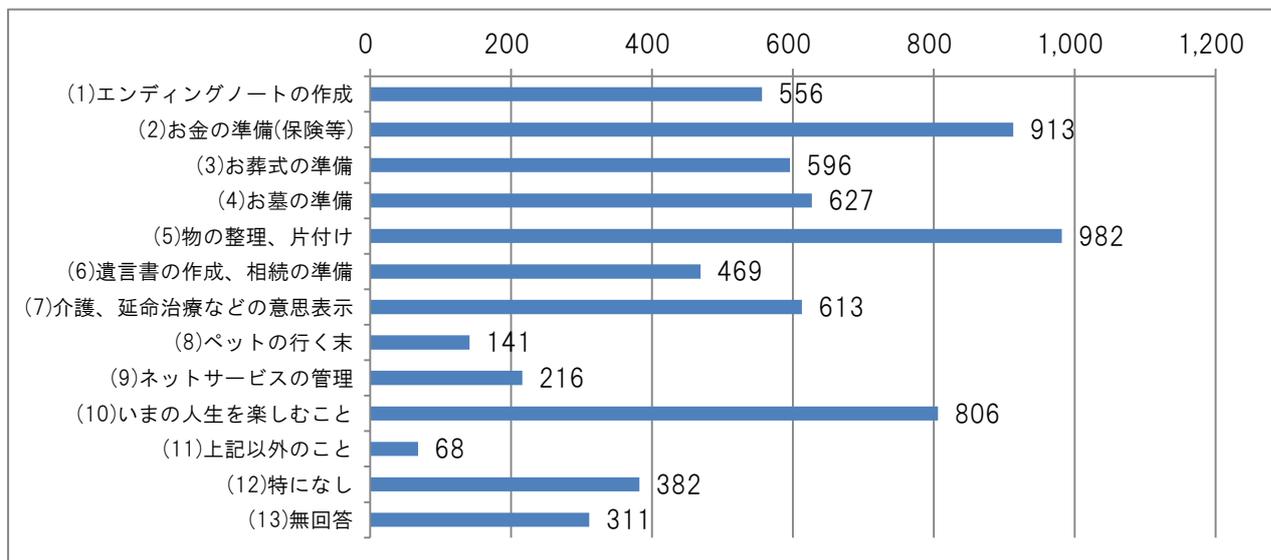
最も多い回答のコメントとして、「亡母の四十九日が済んでから、母の部屋を整理した際に、着物や洋服がたくさんタンスの中に有り、処分するのが大変でした。」というように、自身が大変な思いをしたことにより家族への負担とならないよう、今後行っていきたいと考えている方が多い結果となりました。



【参考】

上記の①「自身がすでに行ったこと」と、②「自身がこれから行いたいこと」の数値を合計した数値を参考とします。

この結果は、アンケートに回答いただいた方が“終活”をどのように考え、どのように行動されているかを表したものと考えられます。

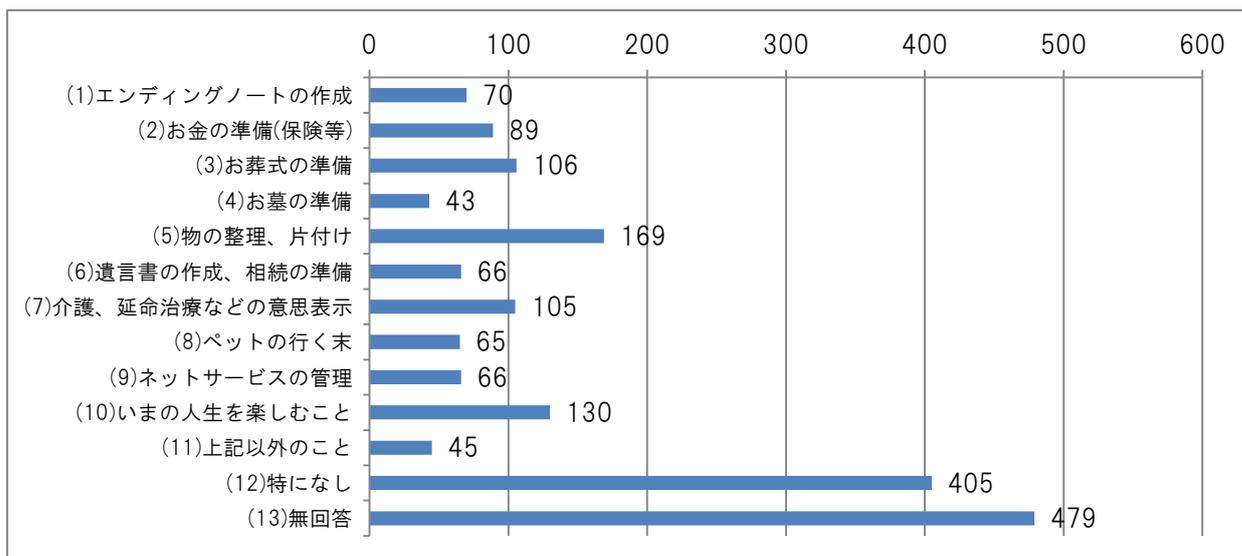


③家族や親しい友人に「行ってほしいこと」〔複数回答可〕

家族や親しい友人に行ってほしいことは、「特になし（405名）」という回答が最も多いという結果となりました。

また、行ってほしいことは、回答数が多いものから「物の整理、片付け（169名）」、

「旅行や趣味などいまの人生を楽しむこと（130名）」、「お葬式の準備（106名）」となりました。お墓や物の整理などは自身で行うようにして、家族や親しい友人には「面倒をかけたくない」とのコメントが多く見受けられました。事前に家族と“終活”について相談をしている方は、それで十分と感じているようです。

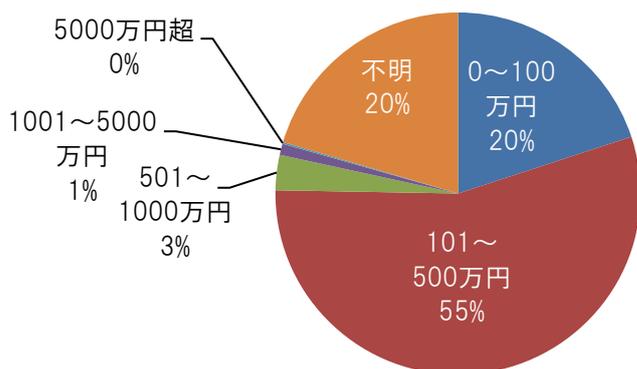


【4】終活について、お金の備えはどれくらい必要だと思いますか？

①お葬式やお墓、遺品整理など、自分のもしものときの資金

「101～500万円」が約55%と半数を超え、次いで「0～100万円（約20%）」との回答となり、全体の約75%が500万円以下の備えを考えているという結果になりました。

お葬式の希望としては「お葬式はお金をかけずに家族葬でして欲しい。」といった家族葬の希望が多く見受けられ、お葬式程度の備えを想定している方が多く見受けられます。



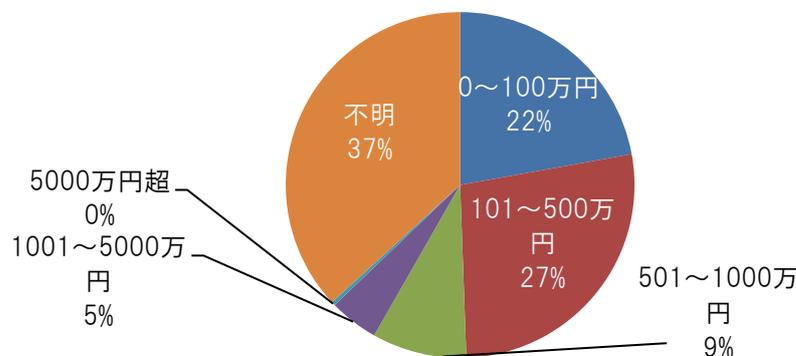
②旅行や趣味など、これからよりよく生きるための資金

「0～100万円（約22%）」、「101～500万円（約27%）」が約半数を占めています。

①に比べ「不明」が約37%と17ポイント増加しており、お葬式やお墓以外に発生する資金については不透明な方が多いことが伺えます。

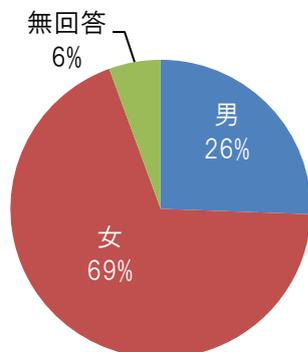
また、「501～1000万円（約9%）」が6ポイント、「1001～5000万円（約5%）」が4ポイント増えていることから、“これからをよりよく生きるため”の資金は、“お葬式やお墓のため”の資金よりも多めに準備しておきたいという傾向が見受けられました。

不明な回答とされた方のコメントとしては、「どんな病気にかかり何年治療にかかるかわからないので、先の事を考えていない訳ではないですが予想もつきません。」など、見通しが立たないとの回答が見受けられました。

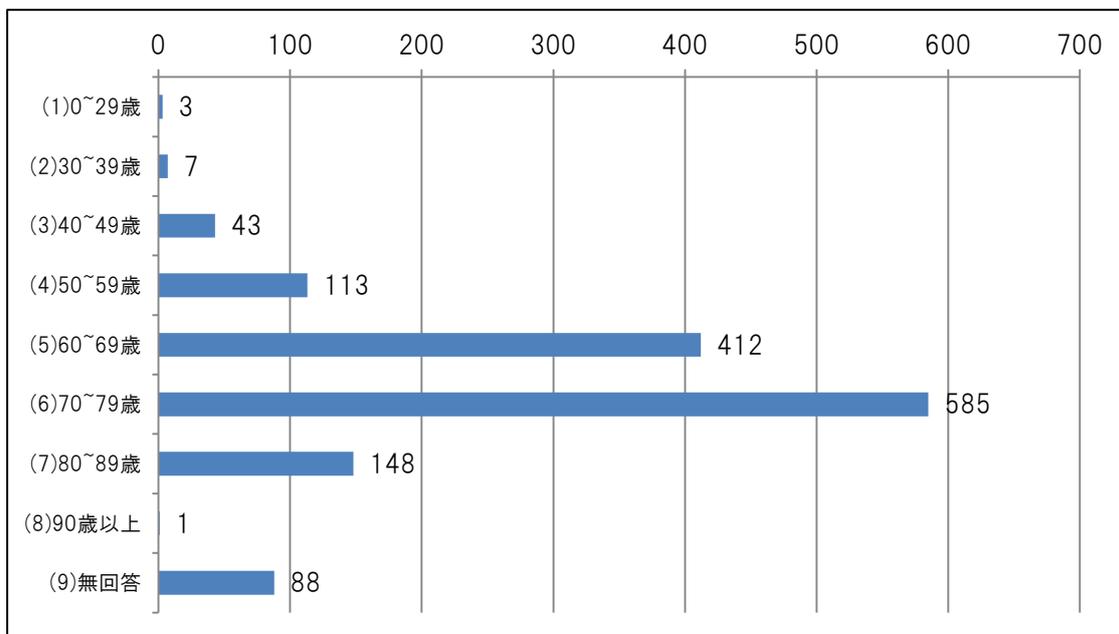


■回答者属性

【1】男女別の割合



【2】年齢別



以上